

令和8年度

第1回江別市廃棄物減量等推進審議会

議 事 録

令和8年8月10日

令和8年度第1回江別市廃棄物減量等推進審議会議事録

日 時	令和8年7月24日（金）13時35分～14時05分
場 所	野幌公民館 研修室3・4号
出席委員	浅川雅己会長、金塚貴子委員、北川裕治委員、佐々木雅之委員、佐藤ひとみ委員、名古屋由紀子委員、ファルークソバン委員、吉田勝文委員（8名）
欠席委員	今林隆一郎副会長、伊東孝子委員※、井上剛委員、加藤真衣委員、吉田磨委員（4名）※伊東委員は次第の途中から参加
事 務 局	堂前環境室長、元木廃棄物対策課長、石川施設管理課長、中村廃棄物対策課主幹、坂本庶務係長、辻本減量推進係長、新野減量推進係主任（7名）
傍 聴 者	3名
会議次第	1 開会 2 議事 (1)報告事項 「令和7年度ごみ処理の状況について」 「ごみ処理手数料等の状況について」 3 その他 4 閉会
配布資料	資料1 令和7年度ごみ処理の状況について 資料2 ごみ処理手数料等の状況について

（13時35分 開会）

1 開会

○元木廃棄物対策課長

それでは、定刻を少し過ぎましたが、始めさせていただきます。

皆様、本日はお忙しいところお集まりいただき、ありがとうございます。本日、司会進行を担当いたします廃棄物対策課長の元木でございます。4月の人事異動で配属となりましたのでよろしくお願いいたします。同じく、4月の人事異動で廃棄物対策課減量推進係に辻本が配属となりました。

○辻本減量推進係長

廃棄物対策課減量推進係長の辻本と申します。皆さまどうぞよろしくお願いいたします。

○元木廃棄物対策課長

また、生活環境部次長として新しく新山が配属となりましたが、本日は部長の近藤と次長の新山につきましては他業務により欠席させていただきます。

本日の会議につきましては、今林副会長、伊東委員、井上委員、加藤委員、吉田磨委員の5名が欠席となりまして13名中8名の出席となっており、委員定数の過半数のご出席をいただいておりますことから、会議が成立しておりますことをご報告いたします。

開会の前に、本審議会の議事概要として、発言内容を発言者の氏名とともに後日、市のホームページ等で公開しますことをご了承いただきたいと思います。また、市では、附属機関等の会議は原則公開としているため、傍聴希望者がいる場合は傍聴を許可するものと思いますが、委員の皆様よろしいでしょうか。

（異議なし）

○元木廃棄物対策課長

ありがとうございます。それでは、事務局のほうで確認いたします。

(事務局による確認)

○元木廃棄物対策課長

本日は、傍聴者がおりますことから、これより入室いただいてよろしいでしょうか。

(異議なし)

(傍聴者3名入室)

○元木廃棄物対策課長

それでは、以降の進行は、浅川会長にお願いしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

○浅川会長

それでは、これより、令和8年度第1回江別市廃棄物減量等推進審議会を開会いたします。

2 議事

○浅川会長

本日の議題は、報告事項が2点です。「令和7年度ごみ処理の状況について」と「ごみ処理手数料等の状況について」になります。はじめに「令和7年度ごみ処理の状況について」事務局から説明をお願いします。

(1) 報告事項

○辻本減量推進係長

それでは、私からご説明申し上げます。市では、昨年度、当審議会のご意見もいただきながら一般廃棄物処理基本計画の中間見直しを行いました。見直し後の計画では、これまでの計画と同様『発生抑制』『資源化』『最終処分』の3つを目標とし、それぞれ令和12年度における新たな目標値を立てたところです。本日は、この3つの目標に対する実績などを報告し、計画の進捗状況についてご意見をいただきたいと考えております。

資料1の1ページをご覧ください。表の網掛けの箇所についてご説明いたします。はじめに1の「発生抑制の状況」についてであります。

(1)「家庭系廃棄ごみ」の1人1日当たり排出量の実績値445グラムは、基準値より29グラム減少しており、目標値より15グラム多くなっております。

(2)「集団資源回収等」の1人1日当たりの排出量の実績値111グラムは、基準値より8グラム減少しており、目標値より39グラム少なくなっております。

(3)「事業系ごみ」の年間排出量の実績値10,036トン、基準値より140トン増加しており、目標値より1,036トン多くなっております。

(4)「総排出量」の1人1日当たりの実績値789グラムは、基準値より33グラム減少しており、目標値より11グラム少なくなっております。

この結果、令和7年度は、事業系ごみを除くごみは基準値である令和6年度より減少しております。事業系ごみについては、令和7年度に市内で大規模な火災があったことから、事業系火災ごみ290トンを処理し、令和6年度より増加しております。

次に2ページをご覧ください。2の「資源化の状況」についてであります。

(1)「資源化率」の実績値18.9パーセントは、基準値より1.0ポイント減少しており、目標値より6.1ポイント少なくなっております。

(2)「資源化量」の実績値6,425トン、基準値より612トン減少しており、目標値より1,775トン少

なくなっております。

次に3の「最終処分の状況」についてであります、

(1)「累計最終処分量」は、6月末時点で令和7年度の測量結果は出ておりません。

(2)「最終処分率」の実績値6.1パーセントは、基準値より0.2ポイント増加しており、目標値より0.8ポイント多くなっております。こちらは、先ほどご説明した市内の大規模火災のごみを最終処分場で受入れたことによるものでございます。

最後に4の「国及び北海道の状況」についてであります、環境省が毎年実施しております「一般廃棄物処理事業実態調査」の令和6年度実績を表に記載しております。以上です。

○浅川会長

ありがとうございました。ただ今の報告に対してご意見ご質問等ありましたらお願いいたします。いかがでしょうか。金塚委員はなにかございますでしょうか。

(質問等なし)

○浅川会長

よろしいですか。吉田委員はなにかご質問等ありますか。

(質問等なし)

○浅川会長

事業系ごみは不測の事態による増加ということ、資源化率については、ごみ全体の量が減っているということです、そういう意味では目標値クリアはできていませんけれども、特段問題があるという訳では無いかなと思います。

特にご質問等なければ、次の報告資料に移らせていただきたいと思います。「ごみ処理手数料等の状況について」事務局から説明をお願いいたします。

○辻本減量推進係長

それでは、私からご説明申し上げます。「ごみ処理手数料等の状況について」でございますが、ごみ処理手数料は、江別市につきましては、一般廃棄物処理基本計画において令和10年度に予定されている市全体の使用料・手数料の見直しに合わせて、事業系ごみと家庭系ごみ直接搬入分の手数料の見直しを検討することとしております。今回は、来年度の手数料の検討に向けた参考情報として、当市のごみ処理手数料と処理原価の状況及び他市の手数料の状況についてご報告させていただきます。

資料2をご覧ください。はじめに1の「ごみ処理手数料及び処理原価の状況」についてであります、表の左列「家庭系直接搬入」は、市民が自ら環境クリーンセンターにごみを搬入し、市が処理する手数料で、10キログラム当たり150円、処理原価は498円、処理原価に対する負担率は30.1パーセントとなっております。

次の列「事業系」は、事業系一般廃棄物処理手数料で、10キログラム当たり200円、処理原価は家庭系直接搬入と同じく498円、負担率は40.2パーセントとなっております。

次の列「し尿」は、し尿を常設トイレと仮設トイレから汲取り、処理する手数料で、20リットル当たり120円、処理原価は463円、負担率は25.9パーセントとなっております。

次の列、「浄化槽汚泥」は、合併処理浄化槽や単独処理浄化槽から出る汚泥を市が処理する手数料で、20リットル当たり80円、処理原価は200円、負担率は40パーセントとなっております。

最後の列に参考まで、指定ごみ袋の手数料、処理原価、負担率を記載しております。

次に、2の「道内中核市及び石狩管内市の指定ごみ袋を除く手数料の状況」についてであります、家庭系直接搬入で最も高いのは、可燃ごみが札幌市の10キログラム当たり210円、不燃ごみが恵庭市

の250円、最も安いのは、可燃・不燃いずれも函館市の24円、事業系で最も高いのは、可燃ごみが千歳市、恵庭市、北広島市の10キログラム当たり240円、不燃ごみが恵庭市の380円、最も安いのは、可燃・不燃いずれも函館市の94円となっております。

し尿につきましては、札幌市、函館市、旭川市、千歳市では、常設トイレと仮設トイレの手数料を分けております。また、し尿及び浄化槽汚泥につきましては、各市で処理単位が異なっているため、表には1リットル当たりに換算した手数料を記載し、カッコ内に各自治体の条例に規定する額を記載しております。

し尿の常設トイレで最も高いのは、札幌市の1リットル当たり14.4円、最も安いのは、北広島市の1円、仮設トイレで最も高いのは、札幌市の29.6円、最も安いのは北広島市の1円となっております。浄化槽汚泥で最も高いのは、札幌市の5.1円、手数料を徴収しているところで最も安いのは、北広島市の1円、旭川市は無料となっております。なお、恵庭市は公共設置型として市が設置・管理しており、浄化槽汚泥に係る手数料はありません。以上です。

○浅川会長

それでは、ただいまの報告に対するご意見、ご質問等あればお願いいたします。

○佐々木委員

はい。

○浅川会長

はい、佐々木委員お願いいたします。

○佐々木委員

江別リサイクル事業協同組合の佐々木と申します。来年度より処理手数料の見直しの検討を始めるということですが、この資料から感じますことを何点かお話ししたいと思います。

まず、家庭系のクリーンセンターへ直接搬入されるものの処理手数料ですが、家庭ごみの収集についてはごみステーションを利用してもらい計画収集ということを基本としていると思います。計画収集というのはやはり、分別を市民の皆さんに協力してもらおうということになりますが、燃やせるごみ、燃やせないごみ、それから資源になったり危険ごみだったり、または処理できないごみもあります。直接搬入の大半は、そういったものを車に乗せて一緒に持ち込まれるケースだと思います。そうしますとクリーンセンターで係員がついて分別の指導をしたり、そういったことをしているとプラットフォームでも滞留時間というのがすごく長くなってきます。それと現行の手数料は比較的抑えられた金額になっていると思いますので、直接搬入しやすいのではないかと思います。

直接搬入するというのは車を持っている方に限られるわけで、車がない方はできないということになります。そういったことでいいますと、やはり計画収集とのバランスを見たり、それから先ほど申しましたクリーンセンターでの混雑。搬入される車がすごく並んでいる。そういったものを緩和する観点からも、値上げへの方向の検討もされてはどうかと思います。

それから、事業系の処理手数料について、今現状を考えますとそんなに景気も良いと言えないし、物価は上がり続けているような状況ですので、値上げっていうのは非常にデリケートで慎重に考えなければいけないものではないかと思うんですけども、近隣市の状況を考えますと、処理単価に対する負担率、そういったところも検討されてはどうかと思います。

それから、クリーンセンターとは長期契約を結ばれて、委託料をその契約通りに支払っていくと思いますが、最近の長期契約というのは、物価の状況を見ながら年間の委託料を協議するような条項の契約がほとんどだと思います。状況を考えると、近々そのような協議の申し出があるのではないかと思いますので、そういったことも考えて手数料を検討していった方がいいのではないかと思います。

最後に、し尿の手数料、常設と仮設の処理手数料が一緒になっていますけども、仮設については主

に建設現場とか、事業者が設置されている仮設トイレを汲取ってくることになりますので、他市では差をつけているところが多いです。こういったところも検討してもよいかと思います。また、全体的に他市と比べて安い印象を受けるので、し尿の手数料自体、見直しを検討したらどうなのかなと思います。以上です。

○浅川会長

ありがとうございます。次年度の手数料の見直しにあたって検討すべき事項のご指摘でしたが。

○吉田（勝）委員

はい。

○浅川会長

では、吉田委員お願いします。

○吉田（勝）委員

私も同意見で、値上げする方向がいいのではないかと思います。いろいろな意見を聞いて、江別市は安いという声が外からも聞こえますし、私も実際にクリーンセンターへ自己搬入したことがあるんですが、一般の方がちょっとしたごみを積んで車で毎日のように来る傾向があります。それと、長時間待つて並んでいる車がいっぱいだったり、実際に業者の車が入れないということもあるので、そういうものを考える余地があるとしたら、やはり値上げして、もっと市民にもごみ処理の大切さを理解してもらうのは必要だと思います。以上です。

○浅川会長

ありがとうございます。そのほかご意見ご質問等ございますでしょうか。

事務局のほうからは何かコメントはありますか。

○堂前環境室長

ご意見ありがとうございます。今回の資料として手数料の状況を出させていただいた意図というのは、冒頭でもお話させていただきましたが、一般廃棄物処理基本計画の中で、令和10年度に市の使用料・手数料の見直しが全庁的に行われるタイミングに合わせて、手数料の見直しを検討することとしております。来年度からの検討に向けた予備的な資料ということで、他市の手数料はどうなっているのかを含め、こういった形で出させていただきました。

計画の中では、家庭系直接搬入と事業系のごみについて検討することとしておりますが、決してそれだけではなく、こちらの資料にもある、し尿等についても来年度以降検討していくことになろうかと思います。今回の資料には他市の処理原価や負担率が無いため、これだけで判断できない面はありますが、あくまで金額だけを見ますと江別市の手数料は高いわけではなく、逆に公平性の観点から、この金額がどうなのかというところは考えていかなければならないと思っております。

前回の審議会でも、委員の一人からは、もっと上げていいというご意見がありました。また、別の委員からは、市内の事業者も経営的に厳しい状況下で負担率をストレートに金額に反映するのではなく、他市の状況等も見ながら検討するべきといったご意見もあると承知しております。そういった中でどこに折り合いをつけていくかということも含めまして、今後我々も考えていかなければならない、皆さんのご意見も伺っていかなければならないと考えておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。以上です。

○浅川会長

ありがとうございます。2つ目の報告についてその他ご質問ご意見ありますか。特になけ

れば3つ目の「その他」についてとなりますがよろしいでしょうか。

(発言者なし)

3 その他

○浅川会長

それでは3つ目の「その他」になりますが事務局から何かございますでしょうか。

○元木廃棄物対策課長

それでは、事務局からお知らせをしたいと思います。1つ目については、皆さん、指定ごみ袋の関係で報道があつてご心配されているところもあるかなと思います。昨今の不安定な中東情勢を受けまして自治体の指定ごみ袋が品薄となるところがあるとのことで、江別市のごみ袋については、市のホームページでもお知らせしていますとおり十分な在庫を確保しているとともに、今後も安定して製造供給できることを確認しております。市民の皆様には、買いためすることなく通常使用される分量を目安にご購入いただくよう、協力をお願いしているところでございます。十分な量を、今年度について確保しておりますので、安心して購入することができるようになっております。

2つ目については、今後の日程でございます。第2回の審議会を年明けの2月ごろに開催させていただきたいと考えております。また近くなりましたら日程調整をさせていただきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。事務局からは以上でございます。

○浅川会長

ただいま指定ごみ袋の状況等について報告いただきましたがご質問等ありませんか。

(発言者なし)

4 閉会

○浅川会長

それでは、これをもちまして第1回江別市廃棄物減量等推進審議会を閉会いたします。事務局にお返しいたします。

○元木廃棄物対策課長

浅川会長どうもありがとうございました。以上を持ちまして本日の審議会を終了させていただきます。今日は本当に暑い日でございます。お気をつけてお忘れ物ないようにお帰りいただければと思います。委員の皆様、本日は誠にありがとうございました。

(14時05分 閉会)